糸魚川市駅北大火被災者·関係者説明会

期日: 平成29年6月13日(火)・14日(水)

	場所:ヒスイ王国館2階ホール	
1 開 会		
2 あいさつ		
3 全体説明		
(1) 支援金、義援金等の配分に	こついて	資料No.1
(2)復興まちづくり計画の策気	定について	資料No.2
(3) 今後の再建に向けた流れに	こついて	資料No.3
(4) その他		
4 閉 会		

糸魚川市駅北大火 支援金・義援金等 被災者支援内容一覧表

単位·千円

																				単位:千円
		世帯の状況	— — ?等			計 加算※	市独自見舞金	生活用品 等支給 (現金給付)	被災者 生活再建 支援金	第1次義援金(見舞金)	第2次義援金(見舞金)	見舞金等 小計a	被災者 生活再建 支援金	第 2 次 義援金 (再建支援) ※	第3次 義援金 (再建支援) ※	再建支援 小計b	仮設店舗 補助金	創業支援事業 補助金	いといがわ木の 香る家・店づくり 促進事業	ふるさと越後の家 づくり復興支援事業
番号	対象者	被害規模	世帯構成	再建方法	小計a 十 小計b	加身次	1 世帯 あたり	1 1世帯 あたり	基礎 支援金	1 世帯 あたり	上 1 世帯 あたり		加算 支援金	1 世帯 あたり	1 世帯 あたり		・空家店舗等の改築 費補助 ・家賃補助	新築及び空家店舗等の改築費補助家賃補助	・糸魚川産木材を使 用した住宅、店舗 等の再建補助	・越後杉を使用した 住宅、店舗等の再 建補助
				建設·購入		+ア+イ+ウ				1, 500	1,000		2,000	1,000	1,000	4,000		25.201112.23		・越後杉の使用量に
				補修		+ア+イ+ウ			2,000			4,700	1,000	1,000	1,000	2,000			†	応じて補助
				賃借	,	+ア+イ+ウ			2,000	1,000	1,000	1,700	500		500	1,000			†	20万円~100万円
		全壊		建設・購入	7,700								1, 500	1,000	1,000	3,500			-	※り災証明書の交付
				補修	5,950				1,500	1,500	1,000	4,200	750	1, 000	1,000	1,750			-	を受けた方
				賃借	5.075				2, 000	2, 000	2, 000	.,	375		500	875				※県産瓦、畳等使用 した場合加算あり
1	住宅所有者			建設・購入	•	+ア+イ+ウ	100	100					2,000	1,000	1,000	4,000				※建築費から火災保
0	_ = =		2人以上		,	+ア+イ+ウ			1,000	1,500	1,000	3,700		2, 000	1,000	2,000			1	険等の受領額を
		大規模		賃借	•	+ア+イ+ウ			ĺ	,	,	.,	500		500	1,000				差し引いた額が 上限
		半壊		建設・購入	6,950								1, 500	1,000	1,000	3,500			†	※原則として市内に
				補修	5,200				750	1,500	1,000	3,450	750		1,000	1,750			-	再建するもの ※県内の大工・工務
				賃借	4,325					,	,	.,	375		500	875			†	店等が建築するも
		一部損壊		補修	550					150	100	350			200	200			-	Ø
				建設·購入		+ア+イ+ウ							2,000	1,000	1,000	4,000			1	
				補修	•	+ア+イ+ウ	100) 100-	2, 000 1, 500	750 750		3,450		,	1,000	2,000			1	
	貸家等 居住者 全壊			賃借	•	+ア+イ+ウ						,	500		500	1,000			-	
2		全壌		建設・購入	6,450							2,950	1, 500	1,000	1,000	3,500			·木材購入費の1/2	
			単身 補	補修	4,700									_,	1,000	1,750			上限 住宅等30万円 店舗等50万円	
				賃借	3,825								375		500	875				
			2人以上	建設・購入	•	+ア+イ+ウ		100	2, 000	1,500	1,000		2,000	1,000	1,000	4,000	0	1 + 0	※以災証明書の交付	+
				補修	•	+ア+イ+ウ						4,700	1,000	,	1,000	2,000			を受けた方	
	— <u>-</u>			賃借		+ア+イ+ウ							500		500	1,000			※市内に再建する	
3	~ · · · · · — —	全壊		建設·購入	7,700		100	100					1,500	1,000	1,000	3,500		•改築費1/2	│ もの │※市内の大工・工務	
_	所有者			補修	5,950				1,500	1,500	1,000	4,200		,	1,000		•改築費	上限200万円	店等が建築する	
				賃借	5,075				ŕ	ŕ	ŕ		375		500	875		※商業·近隣商	もの	
		一部損壊		補修	550					150	100	350			200	200		業地域内は 上限300万円		・上記①欄と同じ
				建設·購入	6,100									2, 500	1,000	3,500	- 家賃補助	※第2,3次義援		
	<u> </u>	全壊		補修	3,600					1,500	1,000	2,600			1,000	1,000		金額を控除し		
4	自己所有 事業者	半壊		賃借	3,100		100)		1	500	,			500	500		て補助		
	尹 未白			補修	1,850					750		1,350			500	500	41	□ □ 任 世 1 / 0		
		一部損壊		補修	550					150	100	350			200	200	上限5万円/月	- 家賃補助1/2 上限3万円/月		
5	賃借事業者	全壊		建設·購入	4,850		100			750	200			2, 500	1,000	3,500		X3年間		
				補修	2,350						500	1,350			1,000	1,000				
				賃借	1,850										500	500				
		一部損壊		補修	425					75	50	225			200	200				
	貸家等 所有者	全壊		建設·購入	4,850									2, 500	1,000	3,500			1	
6				補修	2,350		100			750	500	1,350			1,000	1,000			Ī	
				賃借	1,850										500	500			1	
	その他建物			建設·購入	4,100									2, 500	1,000	3,500			1	・上記①欄と同じ
7	所有者	全壊		補修	1,600	+エ	100			300	200	600			1,000	1,000			1	
	(空き家等)			賃借	1,100										500	500			1	

- ※加算ア(市独自見舞金):世帯員2人目以降 1人当たり5万円の加算
- ※加算イ(生活用品等支給(現金給付)):世帯員2人目以降 1人当たり2万円の加算
- ※加算ウ(世帯員加算(第1次)):世帯員2人目以降 1人当たり30万円の加算
- ※加算工(空き家加算(第2次)):ガス・水道が開栓されていて常に使える状態なら50万円、頻繁に利用されている場合はさらに50万円加算
- ※義援金の再建支援分は、実際にかかった額と支援額の低い方が上限額

問合先

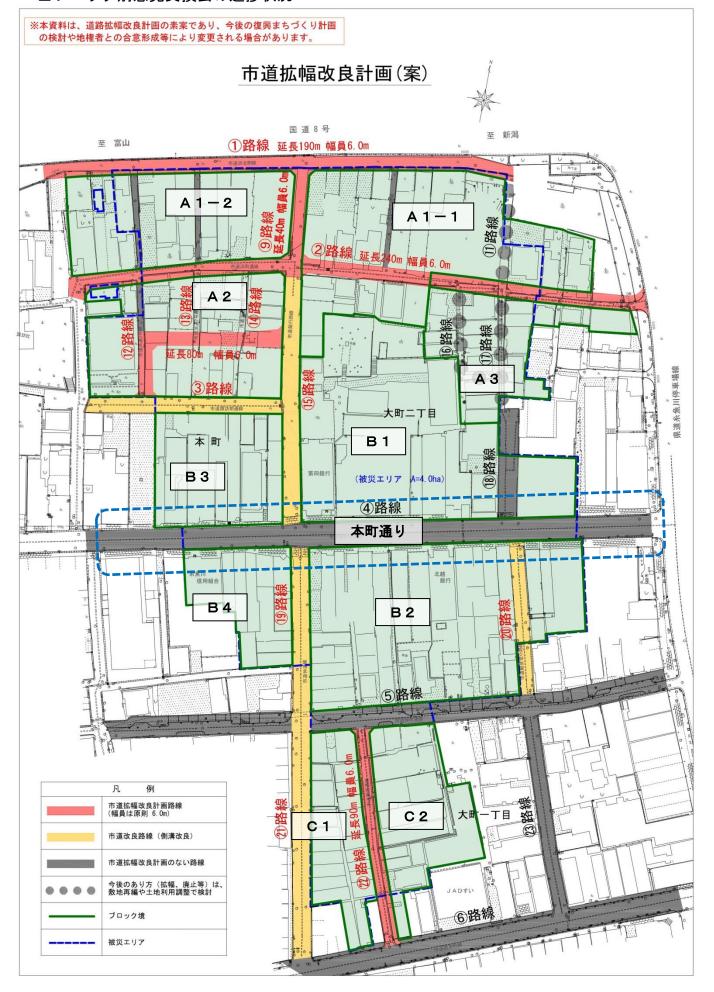
糸魚川市市民部福祉事務所

糸魚川市産業部商工農林水産課

電 話 025-552-1511(代)

メール fukushi@city.itoigawa.lg.jp

■ブロック別意見交換会の進捗状況



ブロック名	意見交換内容、今後の予定等
	・5/10、5/15 に用地立会いを実施。6/16 素図(確認押印前の用地図)確認会を実施予定。
A 1 — 1	・境界確定後にガレキ(基礎)撤去。市道拡幅改良の路線測量に着手予定。
	・敷地の再編は行わない予定。
	・5/19 に用地立会いを実施。6/9 素図確認会を実施。
A 1 – 2	・境界確定後にガレキ(基礎)撤去。市道拡幅改良の路線測量に着手予定。
	・敷地の再編は行わない予定。
	・5/19 に用地立会いを実施。6/9 素図確認会を実施。
	・境界確定後にガレキ(基礎)撤去。
	・5/13の2回目の全体会で敷地再編と⑬⑭路線を廃止して新設する市道の計画線について
A-2	概ねの合意が得られた。
	・6/10 に3回目の全体会を開催予定。敷地再編後の土地の配置計画などについて意見交換
	を行なう。
	・公的な住宅の検討にあたり 6/2 に希望する被災者と富山県内の住宅視察を行った。
	・5/10、5/15 に用地立会いを実施。6/16 素図確認会を実施予定。
A — 3	・境界確定後にガレキ(基礎)撤去。
,, ,	・拡幅を計画する⑪路線と⑱路線を直線道路とすることとあわせた敷地再編の要望があり、
	再編案を作成して個別に意向を確認する予定。
	・5/10、5/15 に用地立会いを実施。6/16 素図確認会を実施予定。
B — 1	・境界確定後にガレキ(基礎)撤去。
	・道路拡幅や敷地再編の予定がないことから早期の再建希望者と不燃化や景観に配慮した
	再建案について個別に協議を実施中。
	・5/24、5/25 に用地立会いを実施。6/27 素図確認会を実施予定。
B-2	・境界確定後にガレキ(基礎)撤去。
	・売却意向の土地を集約して活用する敷地再編案について検討中。
	・4/20、5/18 に用地立会いを実施。6/8 素図確認会を実施。
B-3	・境界確定後にガレキ(基礎)撤去。
В	・6/8 に3回目の全体会を開催。民間資本の参入については合意に至らず、敷地再編を行う
	方向で意見交換を行なう。
	・5/24 に用地立会いを実施。6/27 素図確認会を実施予定。
B – 4	・境界確定後にガレキ(基礎)撤去。
	・敷地再編については協議中であるが、ほとんどの方が再建する方向で検討中。
C — 1	・5/25 に用地立会いを実施。6/27 素図確認会を実施予定。
	・境界確定後にガレキ(基礎)撤去。
0 1	・1軒再建済。ブロック北側に再建意向者を集約する予定。南側については、地権者が活
	用を検討中。
C – 2	・5/25 に用地立会いを実施。6/27 素図確認会を実施予定。
5 2	・境界確定後にガレキ(基礎)撤去。市道拡幅改良の路線測量に着手予定。
	・5/12 と 5/26 に本町通り景観形成と不燃化について勉強会を開催。
本町通り	・6 月末までに、先進地視察を含め全5回の勉強会を開催する予定。
	・6月末を目標に本町通り関係者との合意形成を図る予定。

※6月8日現在までの状況をまとめたものであり、各ブロックの方向性として決定したものではありません。

第4回 糸魚川市駅北復興まちづくり計画検討委員会の開催について

- 1 日 時 平成29年6月8日(木) 13時30分から15時40分
- 2 会場 ヒスイ王国館2階ホール
- 3 委員からの主な意見

(景観について)

- 全体として調和を図りつつも、個々の建物の個性を生かしていくことも大切。
- ・景観づくりを継続的に運営していくには計画や協定等を併せて考える必要がある。
- ・まちなみの再生は、ハードルが高いが、復興の最大のモニュメントとなる。

(消防・不燃化について)

- 消防体制の強化について、消防署員の定員が適正であるかの検証もしてほしい。
- ・防火性能の高い雁木について、"防火性能の高さ"を明らかにできる構造や材質などを説明してはどうか。
- ・延焼シミュレーションは、条件を被災地にあわせて設定しないと、誤解を招く。
- 準防火から準耐火建築物へ規制を高める場合は、相応の支援策も検討してほしい。

(にぎわいのあるまち)

- ・まちなかへの回遊性を高めるには、雁木を含めた糸魚川らしいまちなみ形成と個店 の魅力づくりを合わせて実施することが重要。
- ・広場と一体となった商業施設は、コンテナやマルシェ(定期市)の開催などから初めて徐々に形を変えていくことも一つの方法。
- 広場や広い駐車場などの余地があることで、都市の進化に対応することができる。
- ・復興を機に、地元消費の促進、内需の拡大に資する取り組みを。
- ・にぎわいの拠点施設は、誰が建て、誰が運営していくのか、人口減少にも配慮を。

(住み続けられるまち)

- ・共同住宅は、中心市街地でもあり、3階建てぐらいで進めてはどうか。
- ・住み続けられる、戻ってきて暮らせるという点で「食」の要素は重要。

(計画の進捗管理)

- ・計画の推進にあたっては、外部組織等が評価する仕組みが必要。
- ・防災とにぎわいの拠点の供用開始年度は、明確にしていくべき。

糸魚川市駅北復興まちづくり計画の検討状況

▶ 大火の概要

復興まちづくり計画検討委員会で検討中の内容です。

出 火:平成28年12月22日(木) 10時20分頃 鎮 火:平成28年12月23日(金) 16時30分

出火場所:糸魚川市大町1丁目2番7号のラーメン店

出火原因:大型こんろの消し忘れ

焼損棟数:147棟

(全焼 120棟 半焼 5棟 部分焼 22棟)

焼失面積:約40,000㎡(被災エリア)

負傷者:17人(一般2人消防団員15人) ※中等症1人軽症16人

助言

国道8号

本町通り

白馬通り

▶ 計画策定の目的

糸魚川市駅北大火からの早期復興を目指し、市民、地域、業者、行政等の関係者が、復興まちづくりに 対する考え方を共有するための基本方針を示すとともに、その実現に向けた具体的な施策を取りまとめ、 復興まちづくりを迅速かつ着実に推進していくことを目的としています。

▶ 計画の検討体制

【検討主体(市長に提言)】

糸魚川市駅北復興まちづくり計画 検討委員会 (有識者と関係団体代表、市で構成) 糸魚川復興まちづくり 推進協議会 (国・県・市による

実務担当者会議)

係団体代表、市で構成)

▶ 計画期間

平成33年度までの5か年とし、3つの段階に分けて着実に取り組みます

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
復興計画期	復興素	を備期		復興 展開期

▶ 計画の対象地域

被災地を優先的に復興まちづくりに取り組む「重点地域」とします。

また、被災地を含む糸魚川駅北地域の中 心市街地を計画対象地域とし、復興まちづ くりで取り組む各事業を展開していきます。



重点地域(被災地約4ha)



計画対象地域(約17ha)

▶ 復興まちづくりの進め方

被災者の早期再建の意向をふまえ、これまでの糸魚川らしい市街地形態を継承したまちづくりを進めます。

早期の再建意向への対応地域への愛着と安心感

糸魚川らしさの継承 既存インフラの活用



中央通り

修復型の まちづくり

駅前通り

糸魚川駅

国石ヒスイのようにカタイ絆で力を合わせて大火から復興し、被災者の笑顔とまちのにぎわいをよみがえらせるとともに、歴史ある街道沿いの街なみに人々が集い笑顔で行き交う、歩きたくなるまちの姿を表現。

▶ 3つの方針 目標を達成するために3つの方針を掲げ、復興まちづくりを推進します。

方針1 災害に強いまち

大火を二度と繰り返さない災害に強い安全な市街 地に再生します。

方針2 にぎわいのあるまち

人々が集い憩う中心市街 地としてのにぎわいと活力 を創出します。

方針3 住み続けられるまち

被災前の人口規模を回 復し、将来にわたり地域の 活力を維持します。

▶ 6つの重点プロジェクト

重点プロジェクトは、3つの方針ごとに 重点的かつ優先的に取り組むべき施策 やそれぞれの方針に共通する施策をま とめたものです。

復興まちづくり計画では、6つの重点プロジェクトを設定し、施策を展開していきます。

①大火に負けない 消防力の強化 ③糸魚川らしい ②大火を防ぐまちなみ再生 まちづくり ⑥大火の記憶を

次世代につなぐ

災害に強いまち

④にぎわいのあ るまちづくり ⑤暮らしを支え るまちづくり

にぎわいのあるまち

住み続けられるまち

【プロジェクト名】

【主な施策】

①大火に負けない消防力の強化

大型防火水槽 · 海水利用、住宅用火災警報器、応援協定締結

②大火を防ぐまちづくり

延焼遮断帯や建築物不燃化等の燃えにくいまちづくり

③糸魚川らしいまちなみ再生

雁木が似合う調和の取れたまちなみ景観の再生

④にぎわいのあるまちづくり

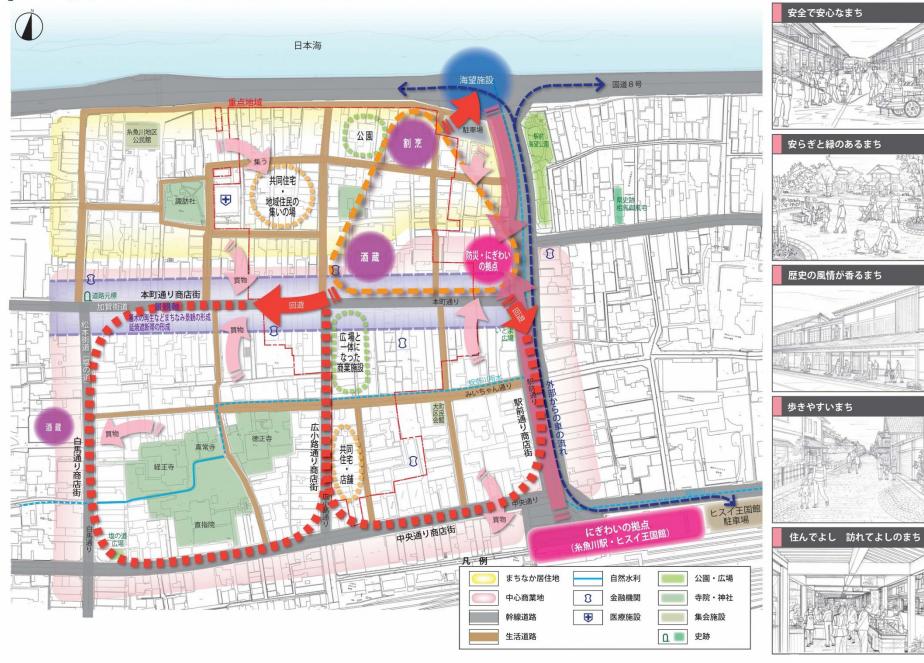
新規商業者支援やにぎわい拠点施設の整備

⑤暮らしを支えるまちづくり

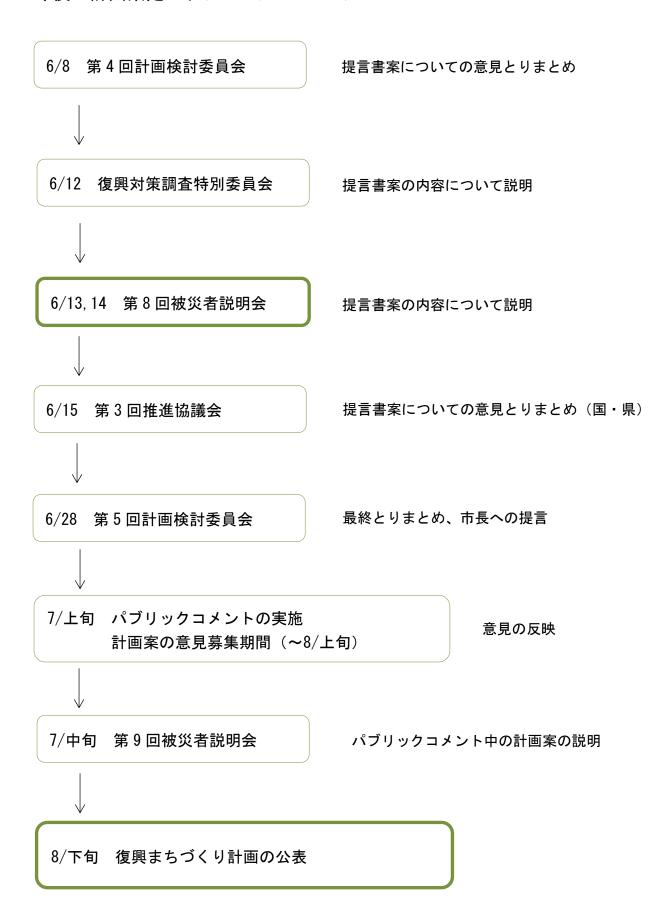
コミュニティ再生の交流の場やサービス付き市営住宅の整備

⑥大火の記憶を次世代につなぐ

防災拠点施設の整備、こども消防団設置



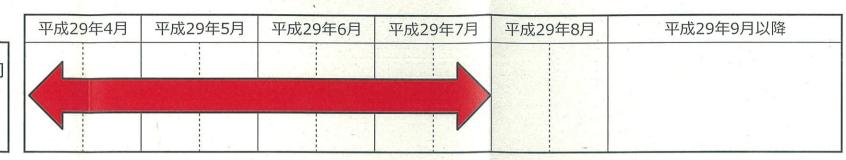
今後の計画策定スケジュールについて



今後の再建に向けた流れ

ブロック別の意見交換

ブロック別に、意見交換を行い、再建への方向性や手法について、意見の統一を行っております。





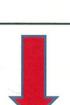
方向性や手法について、意見の統一が必要です。

用地の測量

各ブロックの再建手法に基づき、糸魚川市が 発注した測量業者が用地測量を行いました。 【糸魚川市・測量業者】 用地測量の中で、土地の境界について、土地

用地測量の中で、土地の境界について、土地 所有者の皆さんの立会いにより確認作業も行いました。

【土地所有者·糸魚川市·測量業者】

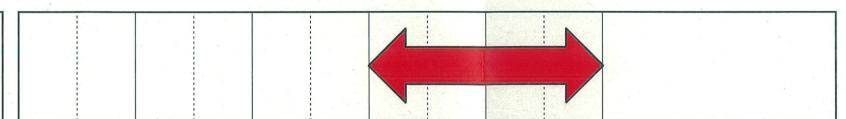


ブロック単位での境界の確認を行いました。 立会いにより作成した素図の確認会を行います。 後日お届けする、「申込書兼同意書」の提出が必要です。

家屋等の基礎撤去

境界の同意が得られたブロックから家屋等の基 礎部分の撤去を開始します。

【糸魚川市】

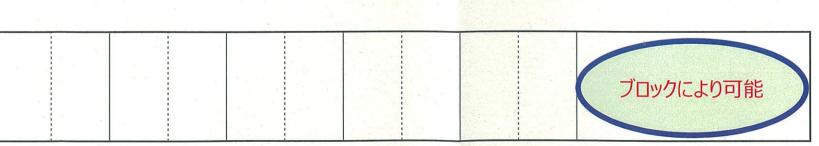




整備方針に基づく住宅等の再建

市道の整備、敷地の再編や住宅等の建築が始まります。

【糸魚川市·土地所有者·土地使用者】



※詳細はブロック担当者にご相談ください。

担 当:建設課 連絡先:552-1511